

平成20年度県政モニター

第2回テーマ「高齢者の社会参加活動の状況について」

(60歳以上の方々用)

対象者	81名
有効回答者	74名(回答率:91.36%)

60歳以上のデータと比較している全国データは、「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(内閣府、平成15年度実施)から引用しています。

<回答者の属性>

1 性別

男：61名 女：13名

2 年齢

60歳代：40名 70歳代：29名 80歳代以上：5名

3 お住まいの環境

どちらかというとし街地 : 50名
どちらかというとな山漁村 : 6名
中間の地域 : 18名

4 お住まいの行政管内

熊本市	: 37	宇城	: 6	玉名	: 5
鹿本	: 6	菊池	: 8	阿蘇	: 1
上益城	: 3	八代	: 5	芦北	: 1
球磨	: 1	天草	: 1		

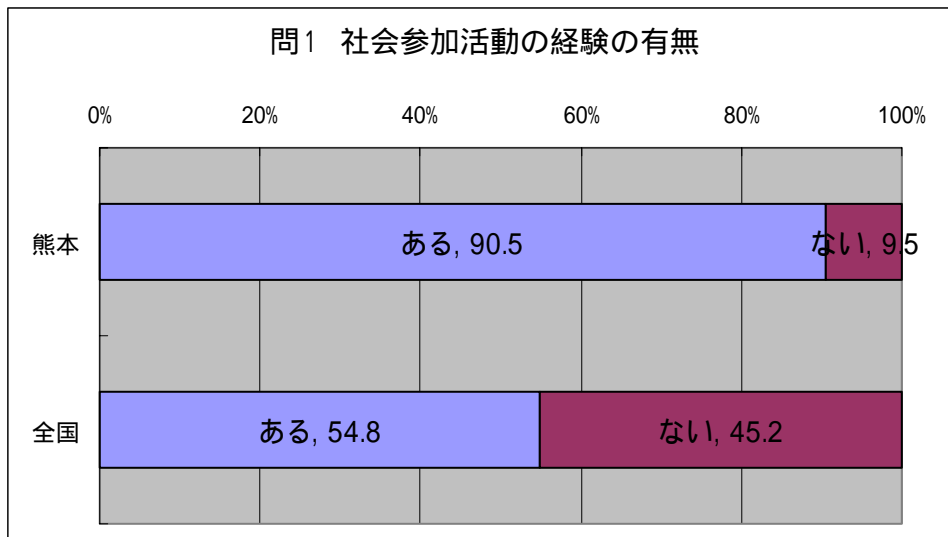
問 1 社会参加活動の経験の有無についてお尋ねします。

社会参加活動の経験はありますか。

社会参加活動とは、問 3 のような活動を想定しております。

ある 問 2 にお進みください。(問 1 9 まで)

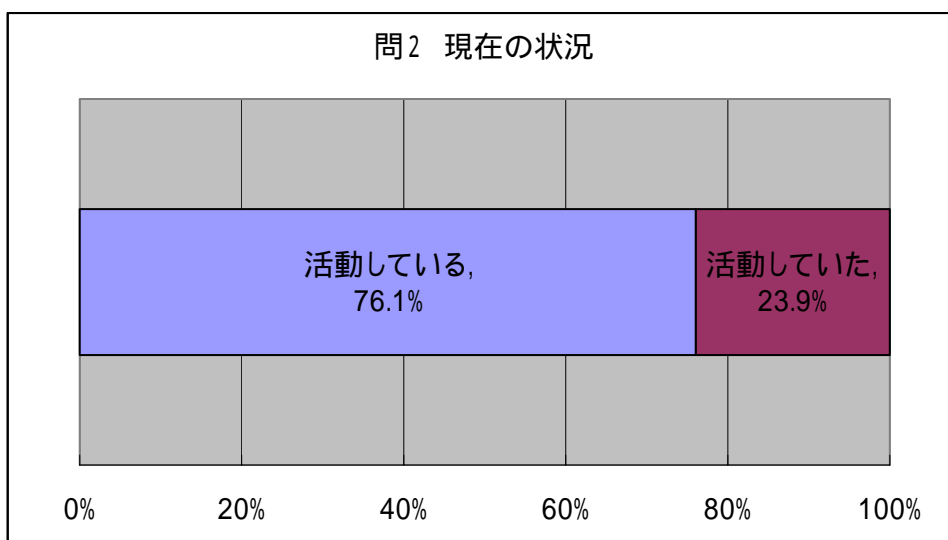
ない 問 1 7 にお進みください。(問 2 2 まで)



問 2 現在の状況についてお尋ねします。

現在も活動している

以前は活動していた



問3 活動内容についてお尋ねします。

現在活動している（以前活動していた）内容について、以下の中から選んでください。（複数回答可）

健康・スポーツ

趣味

地域行事（例：祭りなどの地域の催し物の世話等）

生活環境改善（例：環境美化、緑化推進、まちづくり等）

教育・文化（例：学習会、子供会の育成、郷土芸能の伝承等）

生産・就業（例：生きがいのための園芸・飼育、シルバー人材センター等）

高齢者の支援（例：家事援助、移送等）

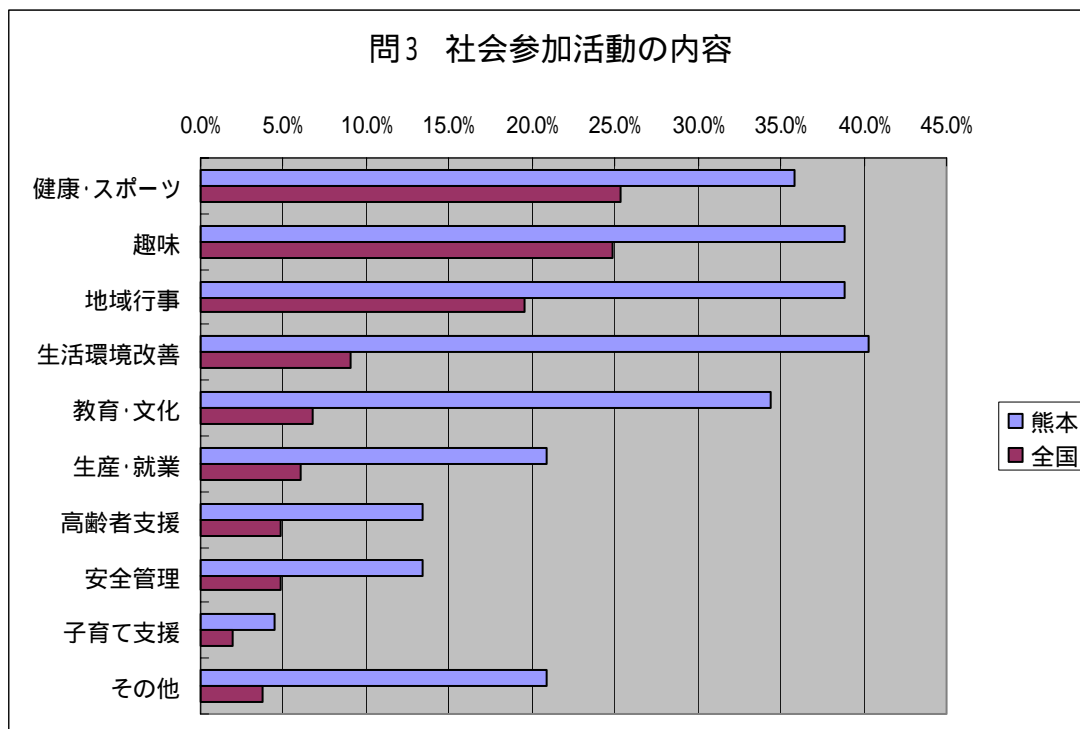
安全管理（例：交通安全、防犯・防災等）

子育てへの支援（例：保育への手伝い等）

その他（ ）

「その他」の代表的なご意見

校区社協理事、民生児童委員、自治会役員等、ALS患者の会支援、精神保健ボランティア、森林インストラクター、生協委員、OB会世話役、身障者の集い、地域の清掃（ゴミ拾い、草刈り等）、いのちの電話ボランティア、料理教室、老人クラブが実施中のコミュニティ・ビジネス など



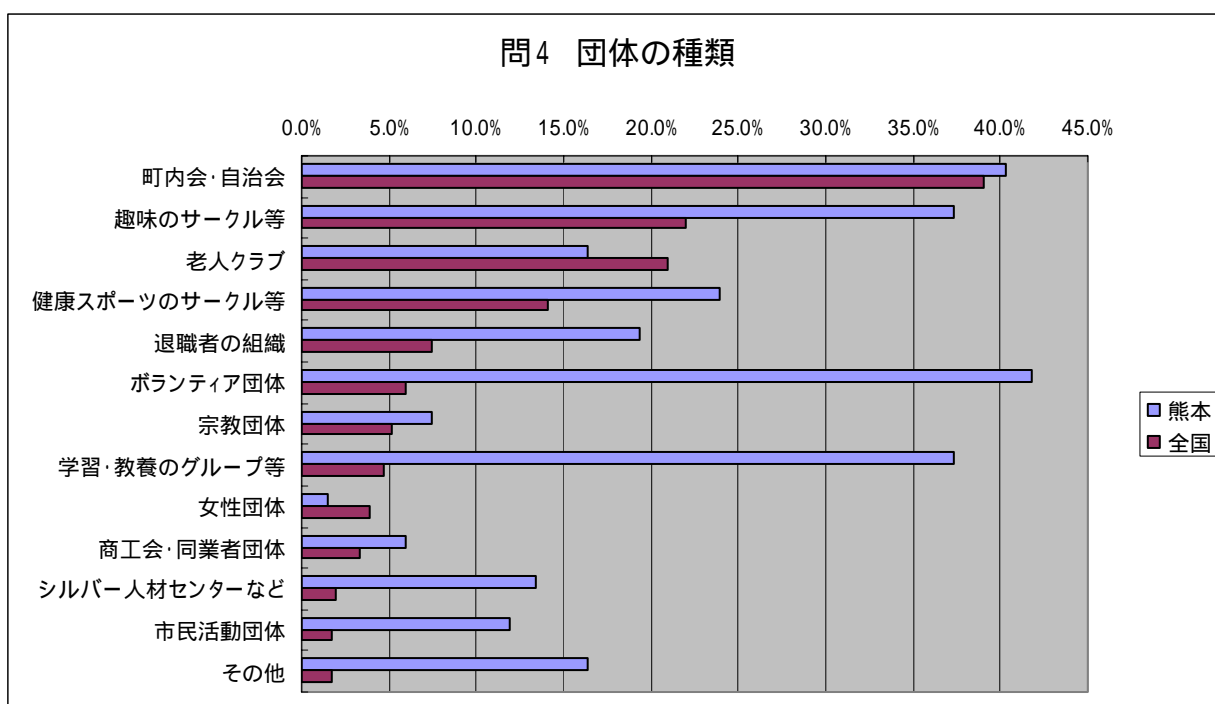
問4 団体の種類についてお尋ねします。

現在参加している（以前参加していた）団体はどのようなものですか。
以下の中から選んでください。（複数回答可）

- 町内会・自治会
- 趣味のサークル・団体
- 老人クラブ
- 健康スポーツのサークル・団体
- 退職者の組織
- ボランティア団体（例：社会奉仕団体）
- 宗教団体（講などを含む）
- 学習・教養のグループ・団体
- 女性団体
- 商工会・同業者団体
- シルバー人材センターなどの生産就業・組織
- 市民活動団体（例：NPO）
- その他（ ）

「その他」の代表的なご意見

校区社協、民児協、公民館主催、県市等行政の公募委員等、
市の関連団体、社会福祉法人、JA助け合いの会



問5 活動のきっかけについてお尋ねします。

社会参加活動に取り組むきっかけはどのようなものでしたか。以下の中から選んでください。(複数回答可)

友人、仲間のすすめ

個人の意思で(問題意識や解決したい課題をもって)

自治会、町内会の呼びかけ

家族のすすめ

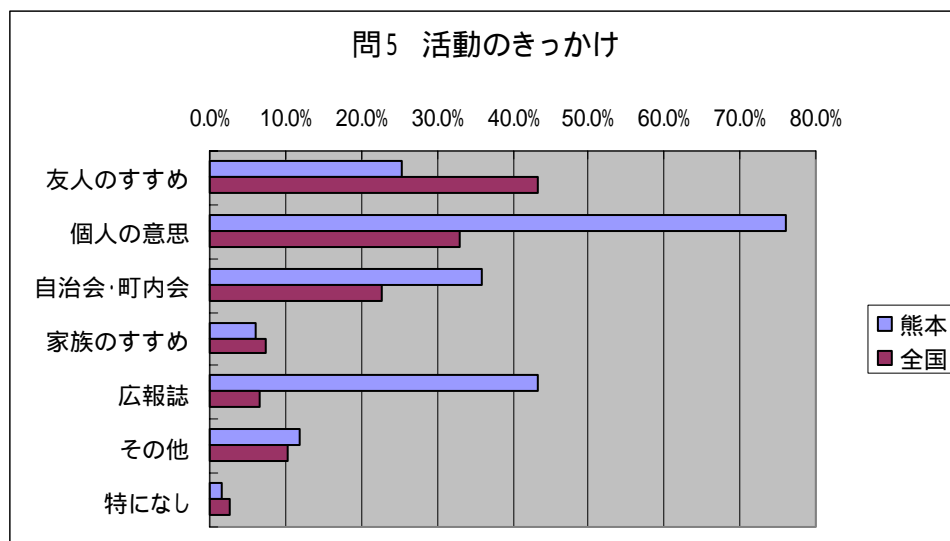
市町村の広報誌をみて

その他 ()

特になし

「その他」の代表的なご意見

団体からの推薦、定年退職を見込んで、行政の呼びかけによるボランティア団体等、地域スポーツクラブ、県や国の推薦、知人、地球の将来を考えたときに など



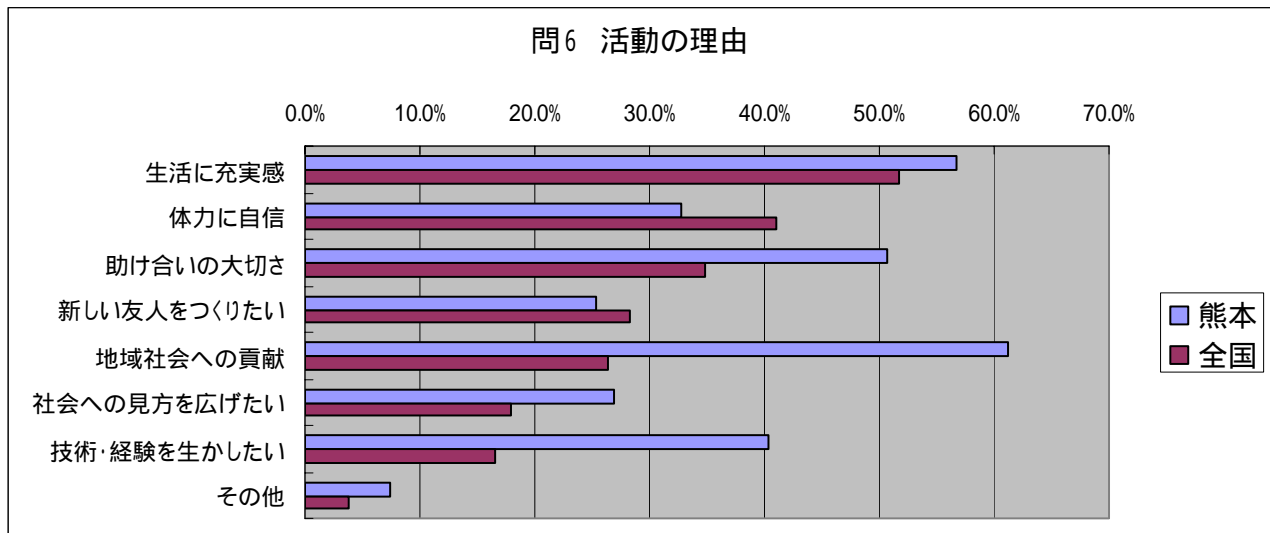
問6 活動の理由についてお尋ねします。

社会参加活動に取り組む（取り組んだ）理由は何ですか。以下の中から選んでください。（複数回答可）

- 生活に充実感を持ちたいから（持ちたかったから）
- 健康や体力に自信をつけたいから（自信をつけたかったから）
- お互い助け合うことが大切だから
- 新しい友人をつくりたいから（作りたかったから）
- 地域社会に貢献したいから（貢献したかったから）
- 社会への見方を広めたいから（広めたかったから）
- 自分の技術、経験を生かしたいから（生かしたかったから）
- その他（ ）

「その他」の代表的なご意見

前にいた企業に恩返しの意味で、周辺環境激変によるやむにやまれず、参加等・自分の経験・知識等を活用し社会に還元するため、意見発表の場を求めて、自分の勉強のため



問7 参加されない方々の理由についてお尋ねします。

現在、社会参加活動に取り組まれている（取り組まれていた）方々から見て、参加されない方々の最大の理由はどのようなことだとお考えですか。

また、どのような協力や援助があれば参加が増えていくとお考えですか。自由に御記入ください。

代表的なご意見

< 適当なメニューがない >

- ・ 現在の生き方、自分の趣味を活かすものが周囲に見あたらないことも理由と考えられる。社会活動情報誌の内容が多種多様な価値観を求めている高齢者にとっては、情報不足の面もあるのかもしれない。県からのたより、市政だより等の内容の充実、各家庭への回覧板等の在り方も見直すべきではないかとも思われる。

< 当事者側の問題 >

- ・ 健康、体力に自信がないから（不参加の人）。周囲の人々が説明や協力しやすい環境をつくってやること。
- ・ 参加している人達の気持ちとどうも合わない。一人でいる方が楽。人の中にいると気疲れするという話を聞いたことがある。人にはそれぞれ得意とするものがある。まず囲碁でも音楽でも、その人の長けた分野に誘導する作戦を立ててはどうか。
- ・ 家庭環境（構成、所在地等）、健康状態（本人と家族）の課題のため。本人の職業上の課題（勤務形態等）から時間的余裕が少ない。本人の社会活動への関心が低く、自己中心の生活をする事で満足する資質のため。本人および周囲の人々が参加できる機会を設けて、体験を重ねることによる。意識の改変を図る。人と人との交流の楽しさの体験から社会人としての連帯の意義と認識を高揚する。

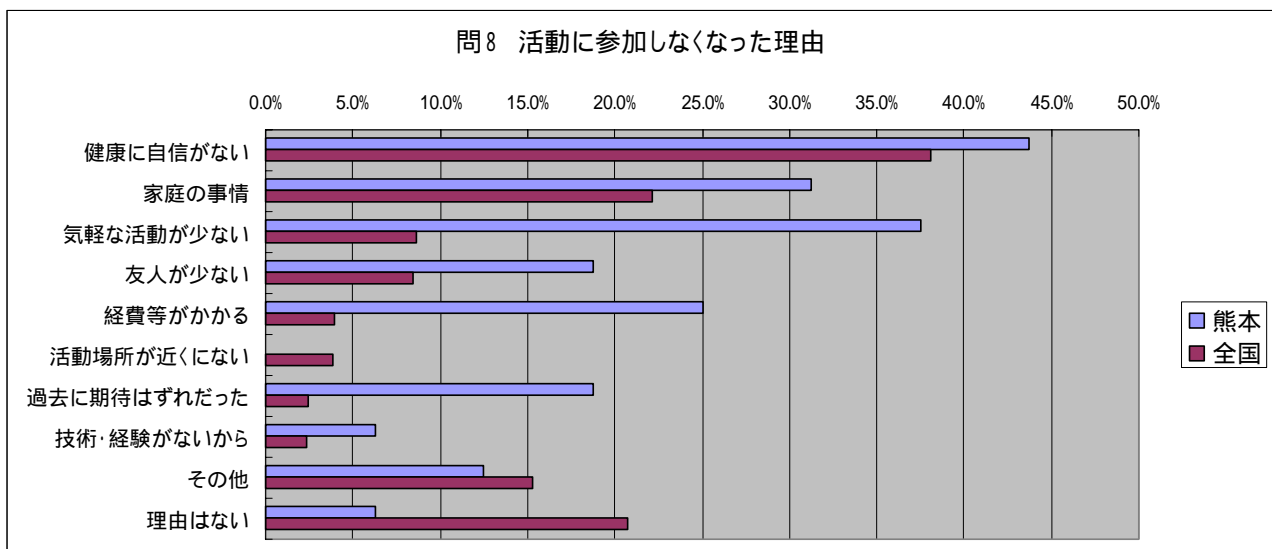
< 情報不足 >

- ・ 参加の場がわからない。参加を求めているグループ等の全体的な周知が必要だと思う。
- ・ 参加する機会や地域のボランティア団体の存在など知らない人が大半。行政、地域が参加の機会を設定し、広くPRして足を運ぶことが大切。参加するためにはどこに行けばいいか、どんな参加の仕方があるかなどを知らせるべきと思う。

問 8 問 2 で と回答された方にお尋ねします。

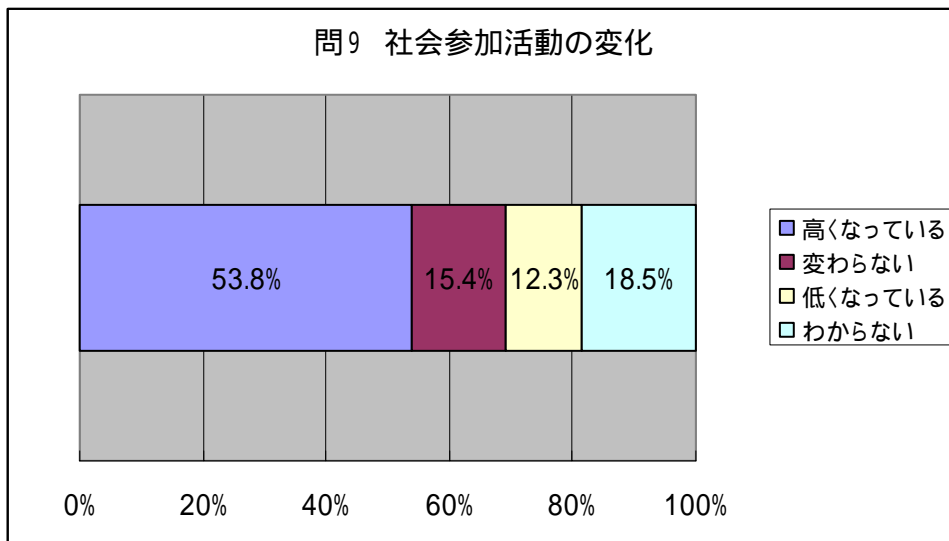
社会参加活動に参加されなくなったのはどのような理由からですか。以下の中から選んでください。(複数回答可)

- 健康・体力に自信がなくなったから
- 家庭の事情(病院、家事、仕事)ができたから
- 気軽の参加できる活動が少なくなったから
- 同好の友人・仲間が少なくなったから
- 経費や手間がかかりすぎるから
- 活動場所が近くではないから
- 過去に参加したものの期待はずれだったから
- 活動に必要な技術、経験がないから
- その他 ()
- 特に理由はない



問 9 高齢者の社会参加活動の変化についてお尋ねします。
以前（およそ10年前）と比べて変化しているとお考えですか。

- 以前と比べ高くなっている
- 以前と変わらない
- 以前と比べ低くなっている
- わからない



問10 問9で、と回答された方にお尋ねします。

高齢者の社会参加活動の変化はどのような理由、あるいは原因があるとお考えですか。自由に御記入ください。

代表的なご意見

< 高齢者の意識の側面 >

- ・ 以前は種々の活動に対して消極的であった。現在は時代の変遷に伴い発想を転換し、地域住民の住みよい明るいまちづくり及び生きがいづくり、健康づくり（シルバーヘルパー等老人クラブ）に積極的に取り組んでいる。特に老人クラブはコミュニティビジネスを大小にかかわらず実施中であり好評である。
- ・ 10年前と比べて、高齢者が元気で若々しく、しっかりしている方が身近に増えたと思う。ボランティア活動についても以前と違い、積極的な方が増えてきたと思う。

< 高齢者の健康の側面 >

- ・ 年齢が高くなっても体力がある人が多い。いろいろな同好会ができていて、時間を持っている人が多くなった。
- ・ 昔と比べて気持ちも若いし、体力もついていると思う。社会で働いている人も多いので、団体活動も自然と入っていけるように思う。車の運転をする人も多くなっているので外出しやすい。

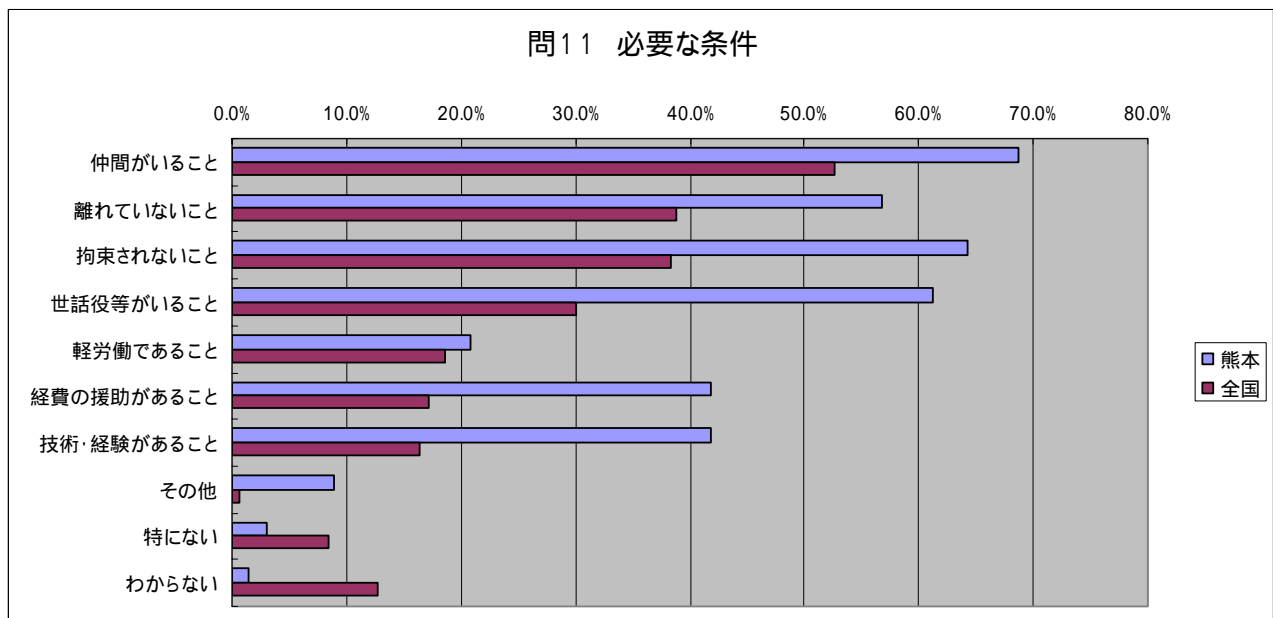
問 1 1 活動を行うための必要な条件についてお尋ねします。

高齢者の社会参加活動を促進するためには、どのような条件が必要とお考えですか。以下の中から選んでください。(複数回答可)

- 一緒に活動する仲間がいること
- 活動場所が自宅からあまり離れていないこと
- 時間や期間にあまり拘束されないこと
- 参加を呼びかける団体、世話役がいること
- 軽作業程度の労働であること
- 実費程度の経費の援助があること
- 技術・経験が活かせること
- その他 ()
- 特に必要なことはない
- わからない

「その他」の代表的なご意見

身近なところに集まれる核となる場所やルールを教える、ボランティア契約といったことを明確に伝える、活動する場がないこと、交通費、自己責任で自己活動が可能な社会活動もある



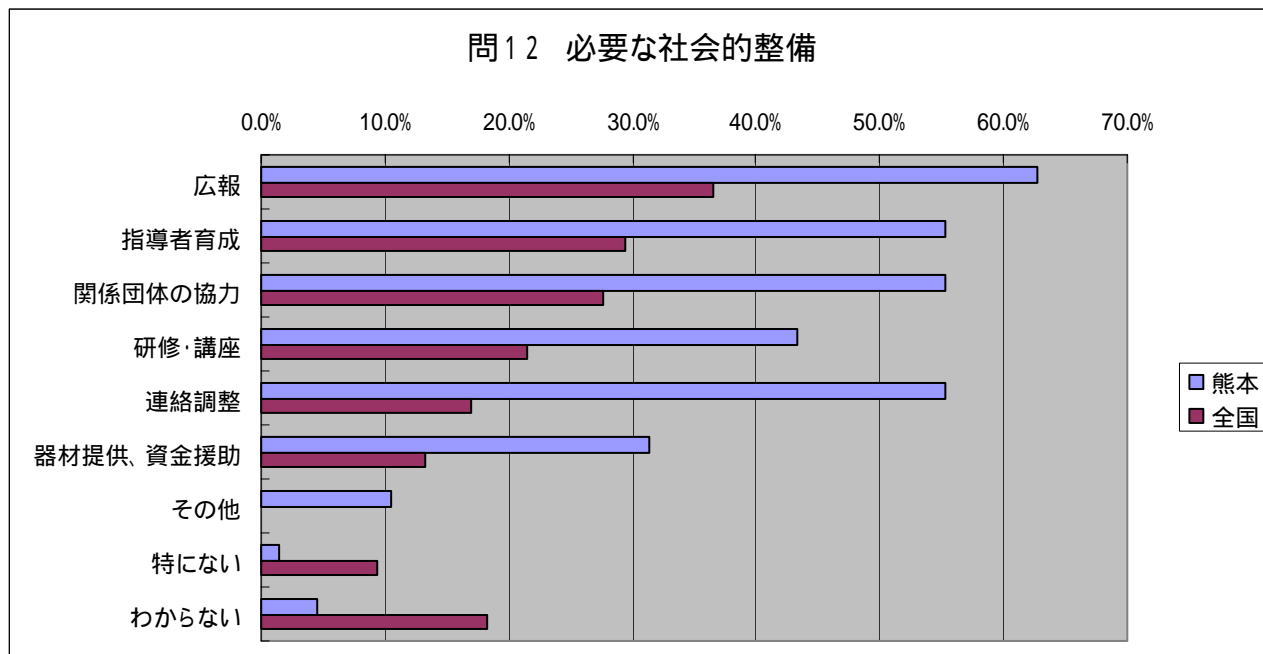
問 1 2 必要な社会的整備についてお尋ねします。

高齢者の社会参加活動を促進するためには、どのような社会的整備が必要とお考えですか。以下の中から選んでください。(複数回答可)

- 地域活動の必要性を多くの人に知らせること
- リーダー、指導者を育成すること
- 地域の関係団体がお互いに協力しあうこと
- 住民のための研修や講座を開くこと
- 地域活動の連絡調整を行うこと(例: ボランティアセンターなど)
- 器材の提供や金銭の援助を行うこと
- その他 ()
- 特に必要なことはない
- わからない

「その他」の代表的なご意見

活動内容が必要性、発展性及び継続性が揃う題材、高齢でも誰でも参加できる社会活動の場をつくり宣伝すること、交通費など、高齢者に対する直接的(対話的)働きかけ、気軽に活用できる会場等があることが必要、地域活動以前の問題としてあらゆる趣味



問 1 3 地域とのかかわり方についてお尋ねします。

次の2つの考え方のうちどちらの考えに近いですか。

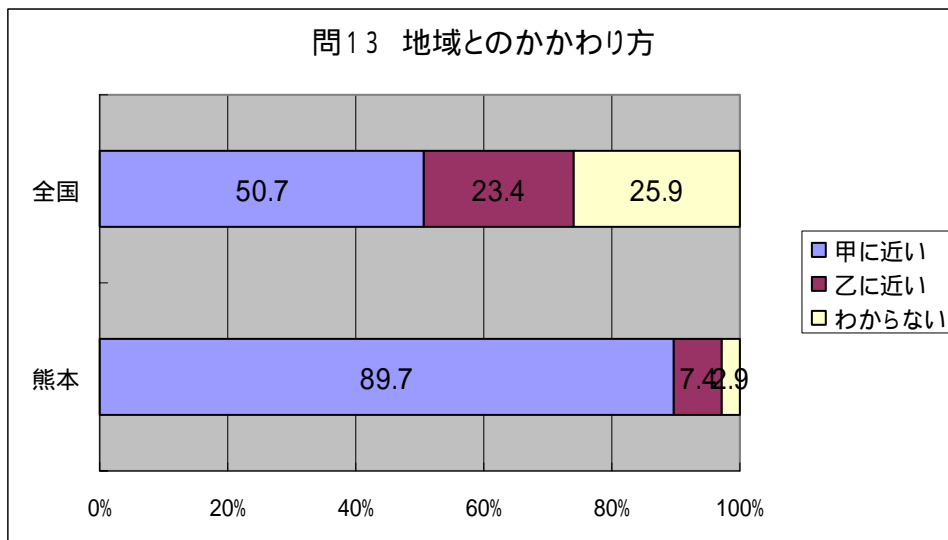
甲：退職後は地域が生活の場となるのだから、積極的に地域活動に目を向けさせる手立てが必要だ。

乙：職場等のこれまでの交友関係を大切にすればよいのであって、地域活動にこだわる必要はない。

どちらかといえば甲に近い

どちらかといえば乙に近い

わからない



問 1 4 世代間の交流の状況についてお尋ねします。

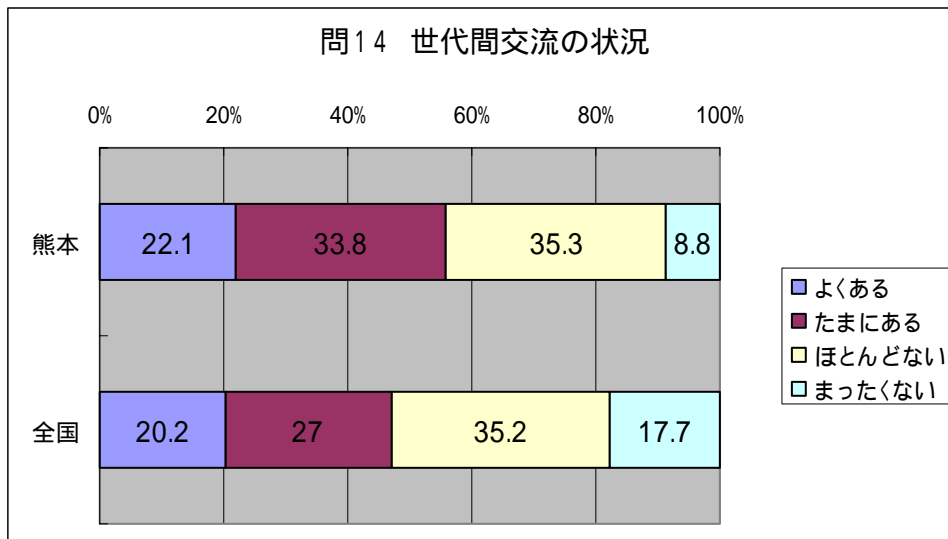
若い世代（60歳未満）との交流の頻度はどのような状態ですか。以下の中から1つ選んでください。

よくある（ほぼ毎日）

たまにある（週に1回程度）

ほとんどない（月に2～3回程度）

まったくない



問 1 5 世代間交流のための必要な条件についてお尋ねします。

世代間交流を促進していくためには、どのような条件が必要とお考えですか。以下の中から選んでください。(複数回答可)

交流機会の設定

高齢者が参加しやすくするための交通機関の整備など

学校や老人福祉施設など公共施設の併設、開放

世代間交流の世話役的リーダーの存在

世代間交流の意義・重要性等についての広報・啓発

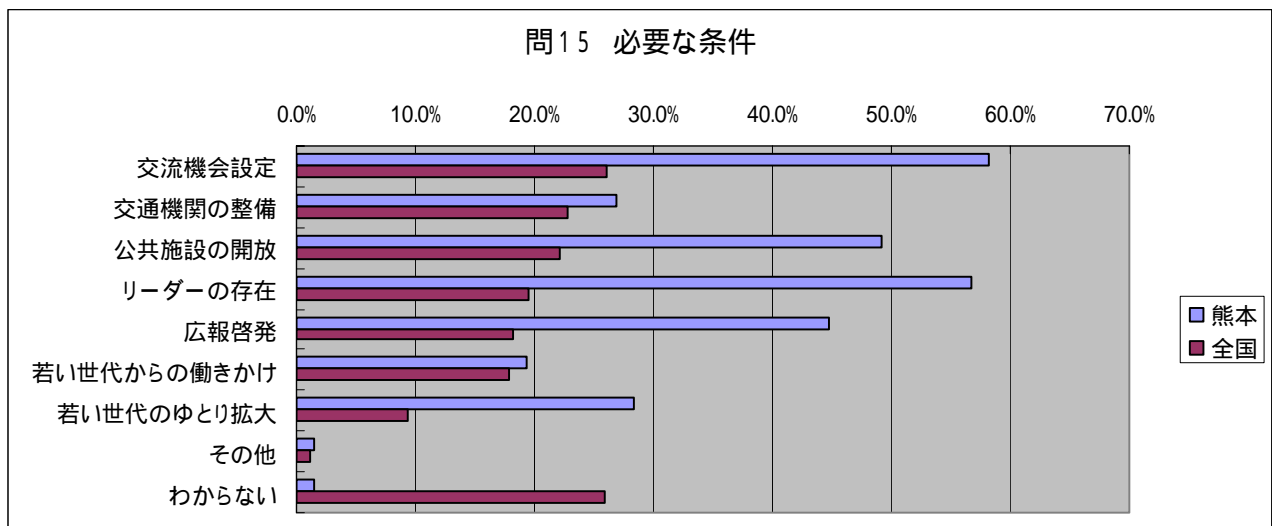
若い世代からの働きかけ

若い世代のゆとりの拡大

その他 ()

わからない

「その他」のご意見はありませんでした。



問 1 6 行政のかかわり方についてお尋ねします。

高齢者の社会参加活動を促進するためには、行政はどのようにかかわるべきとお考えですか。以下の中から1つ選んでください。

直接、協力・援助はしない方がよい

活動が定着するまでは、直接、協力・援助した方がよい

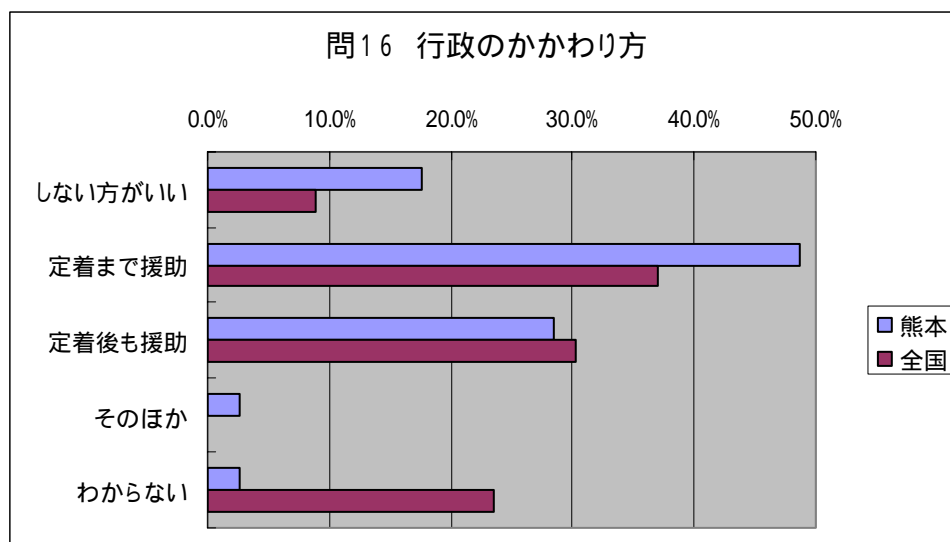
活動が定着した後も、直接、協力・援助した方がよい

その他 ()

わからない

「その他」の代表的なご意見

ボランティア預蓄制度の導入や条例化



問 17 行政の協力や援助の方法についてお尋ねします。

高齢者の社会参加活動を促進するためには、行政はどのような協力や援助をすべきとお考えですか。自由にご記入ください。

< 情報提供 >

- ・ 各自の生き方は自由。県・市の広報誌で社会参加活動の事例紹介と施設利用の案内程度でいい。
- ・ 市町村においては、高齢者団体等の身近な地域での活動例等を「広報誌」による啓発活動を推進すること。県・郡では連合組織の活動の顕彰による育成援助を図ること。

< 全体的な調整 >

- ・ 地域活動の連絡調整（広報活動）が重要である。機材の提供（マイクロバス運行、会合等の場所、施設開放）、金銭の援助（補助金、助成金等）は必要である。ボランティア預蓄制度（助け合い券の交付、活用制度）の導入（条例化）が有効と思う。
- ・ 高齢者本人に参加の意識がないと始まらない。高齢者の関心事を調査し、関心の多いものからの絞って参加を呼びかけては？

< 行事やイベントの企画 >

- ・ 高齢者が気軽に参加できるイベントを計画して欲しい。（祭り、講演会、研修会、登山等）趣味で高齢者が集う場所を提供して欲しい。（コミュニティーセンター、公民館などを利用して）

< 経済的支援 >

- ・ 一般的には経済的援助をすること。これが一番簡単な用だが、そうでなければ社会参加活動を促進するばかりでなく、これらのイベントによって、本当に高齢者自体の幸せに通じるのか、そのあたりを勘案して施行すべき。
- ・ 高齢者の積極的社会参加活動に対しては、事務量が増加、通信費、諸経費もかさむ。事務所、専任事務員が必要であり、行政からの事務援助が必要。

< 場の提供 >

- ・ 里村では高齢者が点在（高齢者同士それぞれが離れている）しているので、便利の良いところに自由村等を創設して、安心して過ごせるようにした上で、促進していけばどうか。

問 1 8 高齢者の孤立化（引きこもり）の原因についてお尋ねします。

高齢者の孤立化（引きこもり）の原因はどのようなものとお考えですか。自由にご記入ください。

< 性格の側面 >

- ・ 人との交流を好まず、独りよがりな性格を持っている。
- ・ 本人の責任もあると思うが、他人とあまりかかわりたくない性格も一因。昔のように近所づきあいがないので外に出るのを嫌がる。（人と接すること）

< 健康の側面 >

- ・ 身体の不自由、外に出てもおもしろくない、出れば他人に迷惑をかける
- ・ 病弱で健康さを欠くことが最大の原因である。行動力を失い、楽しさも生まれない。次に金銭面か。心身共に健全でなければならぬと実感している。

< 周囲との関係性 >

- ・ 社会の急激な変化について行けない。若い人と話が合わなくなった。劣等感を持つようになった。若者にとって高齢者はお荷物との認識が強い。「他人が怖い」と同時に「個人の孤立加速人の流れ」から人嫌い。世間敬遠から外出しない、ということではないか。
- ・ 周囲との関わりがだんだん薄れてくるので、常に交わりのある生活をするように、声掛け運動も展開しつつ、周囲の気配りが必要と思います。

< 家族がない >

- ・ 核家族の増加。地域とのつながり希薄。共同する場の減少。人付き合いのわずらわしさ
- ・ 核家族化により親は孤立化する。世間とつきあうのが面倒くさくなり、一人でじっとしてしまう。

問 19 高齢者の孤立化（引きこもり）についてお尋ねします。

高齢者の孤立化（引きこもり）を防止するために、行政や地域はどのような施策や支援をすべきとお考えですか。自由にご記入ください。

行政に関する代表的なご意見

< 行事イベントの開催 >

- ・ 各種のイベントや活動を各種企業、団体の協力を得て企画し、マスコミの協力も含めて周知することが必要なのではないだろうか。県と市町村との合同の企画にしないと重複があるようだ。
- ・ 昔の映画等を地域で持ち回りして月 1 回とか開催してはどうか。

< 戸別訪問 >

- ・ 高齢者の相談相手になる。公民館等に担当者が出向き、或いは自宅を訪問し、本人が可能な社会参加等をすすめる。
- ・ 定期的に訪問するとか、民生委員に声かけを頼むとか方法はあると思う。

< 相談員等の養成・講習 >

- ・ 高齢者と直接対話する高齢者ボランティア相談員の養成。引きこもりの高齢者の心を開かせ、世間が「私のことを忘れていない」と思わせるよういろいろな工夫をする。
- ・ 予算をたててヘルパーとして人材を派遣する。高齢者理解としての専門職的な講習を幅広く実施し、お互いがお互いを支え、理解できるような人間関係を育てていく。

< 場の提供 >

- ・ 気楽に参加できる場をつくること
- ・ 公民館でのふれあいサロンだけに力を入れているが、近くの庭先、縁側、集落の班、又はグループでの活動支援もいいのではと思う。歩けない人も近くだったら行けるし、気心が知れていいと思う。しかし、庭先、縁側利用には少しは行政の援助必要。冬場の暖房費とか。

< 調査・研究 >

- ・ 時間をかけて一度実態調査を行い、現実を把握してはいかかがか。
- ・ 施設、機構等を通しての実態の把握が肝要。高齢者の孤立化は必

ず防止できる。再生可能な理念指導が求められる。

行政に関する代表的なご意見

< 行事イベントの開催 >

- ・ 近所からの声かけ、民生委員、老人会からの声かけは重要。
- ・ 町内会を通じて、直接、参加のための声掛けをする（世話役、地域リーダー）、活動内容や団体の種類を増やす（いろんな趣味）、活動内容を案内する（広報、チラシ）、気軽に参加してみても合わなければやめるという軽い気持ちで誘ってみる。

< まちづくり >

- ・ 高齢者だけにならない街づくり。空き家、空き地の放置が目立ってきた。若い人が戻ってくる就労の場の増加が基本と考える。現状では、独居者の増加、孤立化を更に増す恐れがある。元気な高齢者だけでなく、小中学生を含めた「声掛け・見守り隊」（近所づきあいの苦手な若い主婦も対象にすべき）結成は重要と思う。

< 相談員スタッフ >

- ・ 高齢者と地域の人々とのコミュニケーションが最も重要であり、それを支える人々の支援や人づくりが大切だと思う。対等で心温まる接し方を続けることが肝要と思われる。
- ・ 社会福祉協議会等の組織を通じて、民生児童委員が高齢者の支援を行っている実態をさらに活動を広げるために委員の陣容を増加すべきと思う。（民生児童委員の給与なし）

< 調査・研究 >

- ・ 最近、個人情報関係で地域の高齢者に関する情報を把握するのも困難かと思いますが、自治会（老人会等）がなんとか年齢くらいの資料を持って参加を促せば、孤立化を少しでも防止できるのではないかと思う。
- ・ 誰がどこにどんな状態にいるのか？この情報が正しく把握されないことの問題が多い。まず詳しくつかむことが大切。

< 行政への期待 >

- ・ 自分たちの地域では近所の高齢者への声掛けや訪問をしたり、手作りおかず等のお裾分け等やっているが、街から離れた一軒家等

の方が心配なので、見回りは行政でやってもらいたい。

問1で「ある」と回答された方は、ここで終了です。

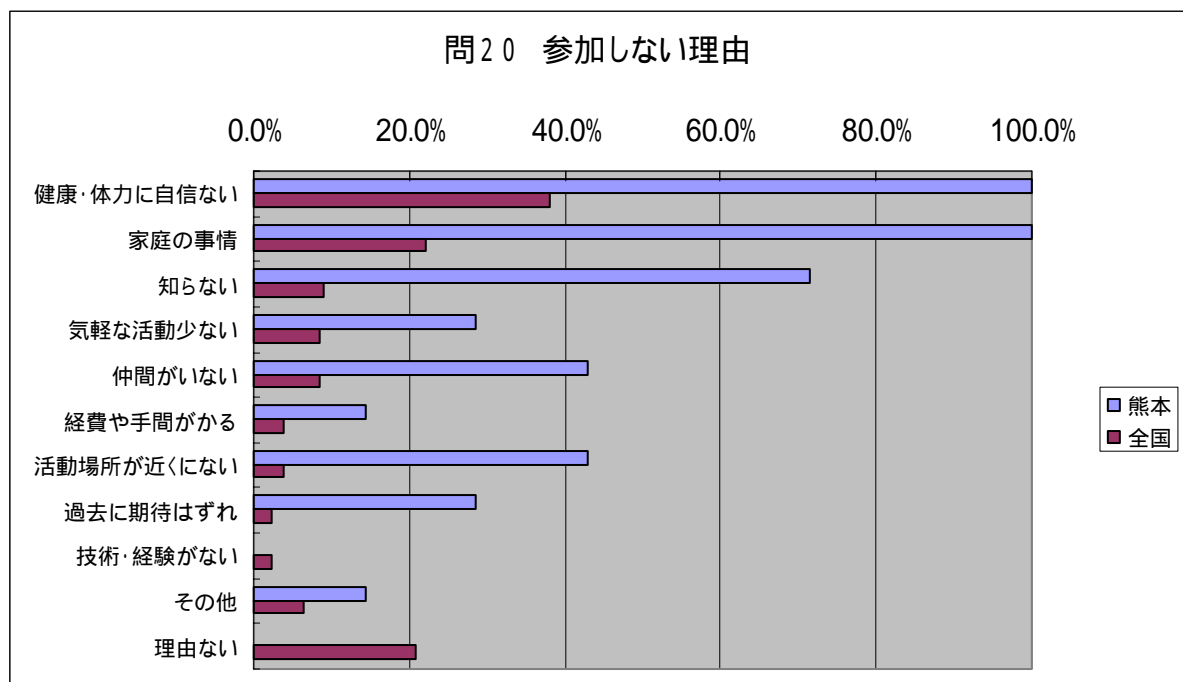
「ない」と回答された方は、以下の設問にもお答えください。

問 2 0 参加されない理由についてお尋ねします。

社会参加活動に参加されないのはどのような理由からですか。以下の中から選んでください。(複数回答可)

- 健康・体力に自信がないから
- 家庭の事情(病院、家事、仕事)があるから
- どのような活動が行われているか知らないから
- 気軽の参加できる活動が少ないから
- 同好の友人・仲間がいないから
- 経費や手間がかかりすぎるから
- 活動場所が近くにないから
- 過去に参加したものの期待はずれだったから
- 活動に必要な技術、経験がないから
- その他 ()
- 特に理由はない

その他のご意見はありませんでした。



問 2 1 参加のきっかけについてお尋ねします。

どのようなきっかけがあれば社会参加活動に参加されますか。それにはどのような施策や支援が必要だとお考えになりますか。自由に御記入ください。

- ・ 自分が健康なこと
- ・ 近所の声掛けが一番だと思う。行政が関わることで参加者の安心感があると思う。
- ・ 友人、仲間がいない。
- ・ 私は寺原の湧水公園にあらゆる桜を 2 万本位植えるのが夢。行政はもう少し夢のあるものの場作りや窓口等々を作って知らせるべき。
- ・ リーダー、世話人が個人に参加を呼びかける。
- ・ 友人や隣保班の人の声かけや勧めが必要。
- ・ 問 2 0 の理由から現状では参加できないが、一般論として地域の企業や学校を中心に、例えば一斉清掃を企画すれば、参加者は増える。(企業とのつながり、学校すなわち子ども達へのフォロー等から無視できない)
- ・ 魅力ある行事が多ければ口コミで広がると思う。
- ・ 小さな事でも表彰する。大きな症状と宴会、食事会をして、まず喜ばせて、表に出てくるようにすれば、そこにサークルが出来、そのうちいろんな活動に参加するようになるのではないだろうか。

問 2 2 行政のかかわり方についてお尋ねします。

高齢者の社会参加活動を促進するためには、行政はどのようにかかわるべきとお考えですか。以下の中から1つ選んでください。

直接、協力・援助はしない方がよい

活動が定着するまでは、直接、協力・援助した方がよい

活動が定着した後も、直接、協力・援助した方がよい

その他 ()

わからない

その他のご意見

関心を持って欲しい

